

平成27年度後期『学校評価アンケート』にご協力ありがとうございました。学校評価の結果を報告いたします。



平成27年度後期の学校評価に、ご協力いただき、ありがとうございました。

後期の学校教育活動の状況を検証し、「取り組むべき優先課題を明らかにする」ため第2回「学校評価アンケート」を実施させていただきました。

この結果は前期の結果とも併せ、ご家庭・地域と連携を図りながら、今後、子どもたちが豊かに健やかに育つ子どもたちのよりよい成長を目指して改善を図っていくことを明らかにし、さらに取り組むべきことを来年度の取組に生かして北醍醐小学校教育の充実・伸展を目指していきたいと思います。

質問項目	学校評価結果		
	前 期		
	児童	保護者	教職員
1. お子さんは、楽しく学校に行っている。	5.8	5.9	6.3
2. お子さんは、進んであいさつができる。	5.5	4.7	5
3. お子さんは、家で読書をしている。	4.6	3.9	4.9
4. お子さんは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	5.7	5.6	4.9
5. お子さんは、学校のきまりやルールを守っている。	5.4	5.4	5.5
6. お子さんは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べる等、基本的生活習慣が身についている。	5.3	5.4	5.3
7. お子さんは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。(15分×学年)	5.1	5	4.6
8. 学校は、わかりやすい授業をしている。	4.9	5.2	4.2
9. 学校は、安全面に配慮している。	5.8	5.3	5.6
10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。	4.2	4.8	5.3

アンケート結果は京都市教育委員会が推奨しております分析ソフトにて、<よくできている><ほぼできている><あまりできていない><できていない>の各割合から、「7.0」を上限とした指数によって、現在の実現(達成)度を表しています。色がついた指数は実現度が8割以上、下線がついた指数は7割を下回ったものを表しています。

『今後も伸ばしていきたいこと』低

* 子どもは楽しく学校に行っている。



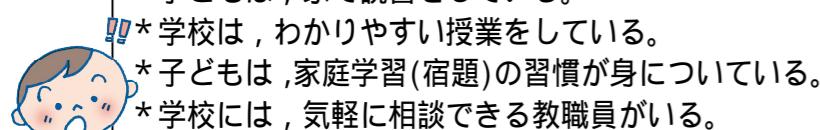
* 友だちと仲良く学校生活を送っている。

* 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。

『さらに取り組むべき課題』

* 子どもは、家で読書をしている。

* 学校は、わかりやすい授業をしている。



* 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。

* 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。

<学校改善に向けて>

<環境面>

施設面での不備をご指摘いただきました。特に体育館のトイレにつきましては、前期のアンケートでもご意見をいただき専門業者による修繕を施しましたが十分な改善には至っておりません。今後も教育委員会に大規模改修を要請してまいります。また、体育館管理室の整備についても検討してまいります。安全管理面での不十分さをご指摘いただきました。その点については、今後も注意を払い、不測の事態が起こらないよう努めてまいります。

<学習指導・生活面>

学習指導面で宿題やテスト等における振り返りのさせ方、学びの多様性などでご助言をいただきました。参考にさせていただきます。長期休業前及び休業明けでの持ち物についてご意見をいただきました。多くの荷物にならず分散して持ち運びできるよう、十分に配慮してまいります。ご家庭におかれましても、お子たちにご助言いただきますようお願いいたします。

<その他>

月行事等のお知らせを早めに周知するようご意見をいただきました。特に早帰りの日や予定に変更が生じる場合など、早期にお知らせできるよう努力してまいります。また、学級だよりでお知らせする持ち物なども可能な限り具体的にお知らせできるよう配慮いたします。ホームページの掲載回数についてもご意見をいただきました。可能な範囲で掲載をしてありますが、今後も学校の様子が伝わるよう努力してまいります。作品展の時間延長についてご意見をいただきました。ご覧いただける時刻を午後5時までとはしておりますが、作品展のみならず、他の場合につきましても個別のご事情がある場合はご遠慮な(お申し出ください)可能な範囲で対応させていただきます。

様々な面からご意見やご感想、お褒めの言葉もいただきました。ご協力いただき誠に有難うございました。お寄せいただきました貴重なお考えを参考に、今後の学校運営にあたってまいります。

それにもまして、日ごろより気軽にご相談いただける学校であるよう努力してまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

質問項目	学校評価結果		
	前 期		
	児童	保護者	教職員
1. お子さんは、楽しく学校に行っている。	5.8	5.9	6.3
2. お子さんは、進んであいさつができる。	5.5	4.7	5
3. お子さんは、家で読書をしている。	4.6	3.9	4.9
4. お子さんは、友だちと仲良く学校生活を送っている。	5.7	5.6	4.9
5. お子さんは、学校のきまりやルールを守っている。	5.4	5.4	5.5
6. お子さんは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べる等、基本的生活習慣が身についている。	5.3	5.4	5.3
7. お子さんは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。(15分×学年)	5.1	5	4.6
8. 学校は、わかりやすい授業をしている。	4.9	5.2	4.2
9. 学校は、安全面に配慮している。	5.8	5.3	5.6
10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。	4.2	4.8	5.3

やさしく【豊かな心】

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。
後期も、3者共に実現度の指数は8割を超え、子どもたちは学校生活に安心できているという結果となりました。学校では、次年度に向けて、子どもたちが安心して持っている力を伸ばせるようにと、前期よりも気を引き締めて検証した指数となりましたが、保護者の実現度は前期より増えたことを嬉しく思います。子どもたちが楽しく学校生活を送る中で、教職員は、「安心し、自信をもって持っている力をのびのびと伸ばす」学校を目指します。

4. 子どもは、友だちと仲良く学校生活を送っている。
児童・保護者共に、実現度の指数が前期とほぼ変わらず高めの結果となりました。しかし「誰にとってもあたたかい学校」を目指し、相手を大切にする言動や「時・場合・状況」を意識した行動について授業や学級経営を中心に取組を進めます。

2. 子どもは、進んであいさつができる。
児童の実現度の指数が若干下がりました。このアンケートを機に、子どもたち自身、「あいさつ」について振り返ることができたようです。また、あいさつをしていると答えていても、相手に届いていない場合があると考えられます。あいさつや正しい言葉づかい、感謝の言葉を「進んで言える。」ことを、教職員が率先して示しながら、授業や様々な活動で指導していきます。

10. 学校には、気軽に相談できる教職員がいる。
前期の結果を踏まえて子どもたちと関わってきましたが、児童の実現度の指数は、前期と変わらず低めの結果となりました。学習活動をはじめ掃除活動や休み時間など、子どもたちと共に活動することで子どもたちと気軽に話し楽しんで子どもたちの内面にも寄り添えるように努めます。また、子どものすてきな行動や力をタイムリーに伝え、子どもが安心できる繋がりを深めています。

かしこく【確かな学力】

3. 子どもは、家で読書をしている。
児童・保護者の実現度が後期も低い結果となりました。子うま文庫やPTAの皆様の読み聞かせでは本の世界に没頭する姿が見られ、授業では図書室での活動を増やし、毎週水曜日は学校図書館運営支援員が常駐し、本の紹介など様々な工夫を凝らして読書活動を支援してきました。しかし、子ども自ら本を開き読書を楽しむよう、私たち大人が読書する姿や本の楽しさを伝える取組をさらに考えていきます。また、図書室のリニューアルによって読書環境を整えたので、図書室を活かした取組にも努めています。

7. 子どもは、家庭学習(宿題)の習慣が身についている。
「確かな学力」は授業だけでは身につきにくく、子ども自身がじっくり自分のペースで反復したり一人で考えたりする事がとても大事になります。子どもたちが、家庭学習を進めやすい課題や学習法を工夫するとともに、家庭学習したことを授業で活用でき、意欲にも繋げるよう取り組みます。そして読書も含め、家庭学習を位置づけた生活リズムの確立を目指します。ご家庭でのご協力もよろしくお願いします。

8. 学校はわかりやすい授業をしている。
わかりやすい授業に対し、児童の実現度の指数は前期と変わらない結果となりました。改めて、教員はさらなる指導法や学習活動の改善を図り、「できた」実感や「分かる」楽しさを味わえるよう1時間1時間の授業を大切に取組を進めていきたいと考えています。そのためにも、児童一人一人の学習状況をこれまで以上に把握し、授業の中で、どの児童も意欲的な発表や主体的な活躍ができる授業に努めています。

5. 子どもは、学校のきまりやルールを守っている。
この項目においても児童の実現度の指数は前期と変わらぬ結果となりました。本年度は、全校で頑張る目標として『あいさつ(目を見て明るく)』『そうじ(思いやりの心で)』『言葉づかい(丁寧に話す)』とし、朝会ごとに全校で確認してきました。しかしながら児童の言動に対し、褒めたり確認したり注意したりといったタイムリーな関わりが少なかったための結果と考えます。「廊下の歩き方」といった安全面や「授業準備、時間を守る」といった規範意識も含め、まずは教職員が率先した行動を進めながら、指導・支援していきます。

6. 子どもは、十分な睡眠を取り、早起き、洗顔、歯磨きをし、朝ごはんを食べるなど、基本的生活習慣が身についている。
この項目の実現度の結果が、児童・教職員ともに前期より下がりました。生活点検調べの結果で「就寝時間が遅い」「朝の歯磨き」「朝の排便」にて「できている」割合が7割前後の状況がありました。基本的生活習慣が整わないと学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つになります。日々の健康観察を主に、保健学習なども通して子どもたちの健康の把握と指導を進めています。

9. 学校は、安全面に配慮している。
この項目では、児童の実現度の指数が高まりました。「児童引き渡し訓練」や「非通知避難訓練」などの繰返しにより、児童の意識の高まりの表れだと考えます。今後も、子どもたちが安心して活動できるよう、校内の安全面での環境整備を随時進め、学校設備の補修等も、学校関係機関に働きかけながら整備に努めています。